

《 〇 〇 系 》

教員氏名	西村まどか	定 員	15 名
テーマ（予定）	計算力と地頭力をつけよう		
専門演習のねらい・到達目標	計算力に基づく論理的思考を持つ人材になろう		
専門演習の運営方法	物理学演習および物理学実験を行う。必要ならば数学の演習も行う。毎週全員が勉強の成果を発表する。また、卒業論文のテーマの材料は、 1. インターネット望遠鏡を使った惑星観測 2. 堆積土砂を利用した生ゴミの堆肥化の観察 3. 物理学現象の理解 を考えている。外部向けには、前期には国際天文年シンポジウムでの発表、後期終了時に公開成果発表を行う。		
考方法	事前相談の内容により選考する。物理学の勉強は予習復習が重要である。数学が苦手であっても、物理学を学んだことがなくても、たゆまぬ努力ができればカバーできる。選考基準は 1. 部活動やアルバイトを長期間続けた経験があるか 2. 規則正しい生活ができているか 3. メモやノートが問題なくとれるか である。		
成績評価方法	通年で欠席が 6 回を超えた場合には不可とする。 1. 出席点 2. 毎週のレジュメ 3. フィールドワークレポート（月 1 回） 4. 実験レポートまたは観測レポート（不定期） 5. 専門演習における準備状況と質問内容 6. 指定講義科目の予習復習状況 などを合わせ総合点により評価する。		
関連科目	計測法入門、基礎プログラミング I, II など担当教員の開講科目を履修していると、議論のポイントを理解しやすいと考えられるが、必須ではない。ただし、物理学を本学の内容のみでカバーする必要があるため、単位を取っていても指定する講義科目に出席してもらう。それゆえに必修科目は履修済みであることが望ましい。		
その他	前向きに、かつ恒常的に努力する学生を求める。物理学の理論および実験、物理学に関連する数学を学ぶことにより、計算力のある論理的思考の持ち主になることができる。勉学の習慣と成果発表を繰り返すことにより「理科系に強い文系の学生」になることを目指そう。		

※ 定員の欄は、7 名～15 名の範囲で記入してください。